



洗付・伊賀街道の脇



平田・植木神社の境内



須原大橋の畔



富永・新大仏寺の境内

ぶんと通信

第54号

2007年10月15日発行
 (財)伊賀市文化都市協会

翁塚を訪ねて

― 偉業、遺徳を偲びつつ ―

俳聖松尾芭蕉を崇敬する多くの人々は、芭蕉の偉業や遺徳を石に刻んで追善や蕉風復興のために翁塚を建てた。翁塚を形態や建碑理由によって分類すると、(1)墓碑の形態、(2)芭蕉の真跡を復刻、(3)芭蕉の句文などを他者が揮毫、(4)遺物、遺墨などを埋めて標記、(5)芭蕉の伝記等を刻む、(6)芭蕉像を設置する、(7)神社として奉祀、に区分される。

伊賀には七十数基の翁塚があるといわれているが、この度は伊賀街道の旧大山田村の四基を訪ねた。

枯芝や、かげろふの一ニ寸 芭蕉

平田、植木神社の境内にある。「笈の小文」に所収。貞享五年(一六八八)春、郷里伊賀での作。自然を微妙に深く観察し、自然の生かし方も新鮮という佳句。碑陰に「昭和四十三年十二月路の墓句会 九圍謹書」とある。

大六に陽炎高しの上 芭蕉桃杏

富永、新大仏寺の境内にある。「笈の小文」の旅で伊賀へ帰り、旧友と阿波庄新大仏寺の旧跡を探訪した時の作。文化七年(一一八〇)当時の住職泰音和尚が伊賀上野に滞在中の長月庵若翁に清記を依頼した。若翁は、享保十九年(一七三四)、長崎県に生まれた。大村藩士であったが、二十九歳の時、致仕。寛政二年(一七九二)には、大阪で芭蕉百回忌を催し、享和二年(一八〇二)伊賀上野に入り、新大仏寺に芭蕉句碑を建てたこと、愛染院故郷塚を修復したこと、芭蕉遺跡の保存を奨励したことなど、今日の芭蕉顕彰に大きな業績を残した。

初しくれ様も小みのをほしげ也 芭蕉翁

洗付、伊賀街道脇にある。元禄二年(一六八九)芭蕉四十六歳の初冬、奥の細道の行脚を終わり伊勢から長野峠を越えて郷里の伊賀上野に帰る途中に詠まれた。碑陰に「天明戊申立秋日 遅月宗雨監樹之」とある。この碑は生前に監修を得たものを天明八年(一七八八)宗雨の十三回忌に建碑したという。句文は芭蕉真跡の摸刻。

からかさにおし分見たる柳哉 はせを

須原大橋の畔にある。元禄七年(一六九四)春、江戸芭蕉庵で作られた「炭俵」に載る。碑陰はないが、傍らの道中祈願塔「南無阿彌陀佛」には嘉永二年(一八四九)と在銘があり、句碑もその頃と考えられる。芭蕉は、旅中に風雅を求め、「平生則辞世なり」の心を養い、蕉風樹立への道をただ一筋に歩いたと思う。

(広報事業委員 西岡時彦)

参考図書：「芭蕉翁句碑」、「芭蕉名碑」、「長月庵若翁展目録」

BUNTO チケット情報

第12回ピアノデュオコンサート
 お子様と楽しめる
 ふたりのピアノコンサート
 Duetwo「デュエット」



11/4(日)
 開場 13:30
 開演 14:00
 3歳以上 500円
 (全席自由)
 青山ホール

爆笑!お笑いバトル2007
 in いが



11/24(土)
 ①開場11:30 開演12:00
 ②開場14:30 開演15:00
 一般 2,500円
 当日500円増(全席指定)
 ※3歳以上有料
 ふるさと会館いが

BUNTO 映画鑑賞会
 『四月の雪』『連理の枝』



11/3(祝)
 開場 13:00
 ・『四月の雪』上映 13:30~15:27
 ・『連理の枝』上映 15:45~17:32
 一般 1,000円
 高校生以下 500円
 当日200円増(全席自由)
 伊賀市文化会館

劇団四季ミュージカル
 「エビータ」



12/11(火)
 開場 18:00
 開演 18:30
 S席 8,400円
 A席 6,300円
 B席 4,200円
 (全席指定)
 伊賀市文化会館

及川浩治トリオ“Bee”
 コンサート



1/27(日)
 開場 13:30
 開演 14:00
 一般 2,000円
 高校生以下 1,000円
 当日500円増(全席指定)
 青山ホール

韓流ドラマコンサート

1/13(日)

11/13(日) 発売中
 開場 13:30
 開演 14:00
 一般 2,000円
 高校生以下 1,000円
 (全席自由)
 ふるさと会館いが

第18回
 青山推薦コンサート

2/3(日)
 11/18(日) 発売中
 開場 13:00
 開演 13:30
 一般 1,000円
 (全席自由)
 青山ホール

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
 青山ホール

TEL.0595(24)7015
 TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが
 あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
 TEL.0595(43)1125

Aqua Timez

8月25日(土)伊賀市文化会館さまざまホールにてAqua Timez「the "BiG BaNG" tour 07」が開催されました。リハーサル前にリーダーのOKP-STARさんとヴォーカルの太志さんにお話を伺いました。

Q:紅白歌合戦の初出場、CMタイアップやアニメのテーマソング、そしてオリコンの上位チャートインと絶好調ですが、太志:僕たちはまだシングルを4枚しか出していません。アルバム5枚出して絶好調なら根拠のあるものですが、バンドとしての評価はまだ未知数です。一度売れるということもすごいことだけど、流行廃れの中のひとつじゃ悲しい。10年同じメンバーで続けられるバンドを目標にしています。売れ続けるということに法則はないので、自分たちの音楽を信じてやっていくしかないと思っていますが。

Q:今日のコンサート、当初は3月の予定でしたが、のどの具合はいかがですか。

太志:今はもう大丈夫です。あのときは声帯が腫れて震わせても声が出ず、気持ちもすごくダウンしていました。今回のツアーが始まる前も根拠のない不安でナーバスになって、でも、自分たちの希望が実現した初めての全国ツアー、やり遂げられればきっと自信になると思っています。

Q:お名前の由来や影響されている方がいらしたらお聞かせ下さい。

OKP-STAR:本名は岡田なのですが、まわりがオカピーと呼ぶようになってそれからOKP-STARになりました。音楽のスタイル的にはメタリガンとかレッドホットチリペッパーズなんかが好きです。ヘアスタイルは別に誰の影響でもなくOKPスタイル。髪の毛が少なくって一番多く見えるにはどう

すればいいかというので着地したのが今のスタイルです。

Q:新曲「ALONES」についての思いをお聞かせ下さい。

太志:周りからがんばれと言われ、がんばりすぎて休み方もよくわからない。下手に笑いを覚えてしまって、本当に腹から笑うということがよくわからない。そんなときの自分を描きました。人との関わりのなかで見栄や建前も否定はできないけど、本当は自分をさらけ出して、自然に生きていければいい。でも、生きていくのが難しく感じて、他の誰にも頼れない時、音楽にもたれかかってもいいんじゃないかな。僕らの曲を聞いて、音楽とひとつになって、少し休んでから自分の足で歩き出してもらえればという思いを込めています。

Q:伊賀市の皆さんに何かメッセージをお願いします。

太志:伊賀に来たのは初めてですが、自分が育った町に似ているのでどこか懐かしさを感じます。OKP-STAR:幅広い年代の人が来てくれそうで、今日は思い出に残るようなライブにしたいですね。

様々なジャンルの音楽センスを持ったメンバーがリーダーを軸にうまく組み合せて生み出される新しいテイストのサウンドと素直に心に響く歌詞に、さわやかな感動を覚えました。ファンも含め、周囲の人をととても大事にしていることがストレートに伝わってくる、そんな彼らでした。

(広報事業委員会 菊野善久)



秋川 雅史

9月24日(月)伊賀市文化会館において、「秋川雅史コンサート '07~千の風になって~」が開催された。

Q:「千の風になって」の反響は、すごく大きいですね。

A:曲自体が幅広い年代に受け入れられるものだからだと思うのですが、特に子供が多いのには驚いています。たぶん、歌詞も曲もわかり易くて歌いよいなのでしょう。

Q:この歌に出会われたことについて、どう思われていますか。

A:この歌に会うまでに、クラシックのみならず、いろんなジャンルを歌ってきました。だからこそ、この歌に出会えたのだと思っています。クラシックを身近に感じてもらうためにも、世代やジャンルを越えた音楽を歌っていきたいという思いがあります。

Q:この歌で、何を訴えたいと思っていますか。

A:この歌は、鎮魂歌ではないのですよね。今、生きている人が、より前向きに生きて欲しいという応援歌として、歌い続けたいと思っています。

Q:今日も、子供からお年寄りまで満席です。



A:「千の風になって」と言う歌は、確実に日本の平均寿命を延ばしていますね。(笑)伊賀市は初めてですが、会場でのお客様との交流が楽しみです。

Q:クラシックでのミリオンセラーは、初めてらしいですが、今後は?

A:これだけヒットすると、次が大変では?と言われますが、私は売り出そうという気は全くありません。いろんなジャンルの名曲を多くの人に届けることに挑戦し続けたいと思っています。

このコンサートツアーは伊賀公演が最終日。「千秋楽ですから、完成品をお見せします。」との言葉どおり、アンコールまで熱唱に次ぐ熱唱。ホールを埋め尽くした大きな拍手は、長く鳴り止まなかった。舞台から「夢の形は変わっても、夢の大きさは変わらない。」と語りかけられた秋川さん。今後新たな名曲を私たちに届け続けてくれるに違いない。

(広報事業委員 廣澤良美)



Duetwo かなえ&ゆかり

11月4日(日)青山ホールで第12回ピアノデュオコンサートが開催されます。ピアノデュオ「デュエット」かなえ&ゆかりのおふたりに公演について伺いました。

Q:おふたりで演奏することになったきっかけは?

A:故郷が同じで先にピアノを習っていた「ゆかり」(当時6才)のピアノをたまたま音楽教室の発表会に聴きに行っていた「かなえ」(当時5才)がゆかりに憧れて同じ音楽教室に通い始めたのがきっかけです。そして同じ音楽大学へと進むのですが、ゆかりの指が腱鞘炎になりピアノが弾けなくなりました。かなえが「ゆっくり一緒に弾いていこうよ!」と声をかけたところから私達のデュオが始まりました。

Q:デュオ(ピアノ)ならではの魅力は?

A:違った2人の「個性」が同じ楽器でぶつかり合うことにより様々なサウンドが生まれてきます。ピアノデュオを通じ

て2人だけが「セッション」するということだけでなく、その土地でそのホールで出会った方達とのコミュニケーションを通じて「音楽とのふれあい、人と人のふれあい」を大切にしながら演奏しています。

Q:今回のコンサートのききどころは?

A:今回のコンサートはまさに「音」を「楽」しむ!です。連弾では聴いている方達も思わずニコリほほえんでしまうような楽しいコンサートです。聴いている皆様もワクワク、ドキドキの演奏にしたいと思っています。地域の子供たちとの共演もきっと笑いあり、の楽しいコーナーになること間違いなしです。そして2台のピアノでは2人で作り上げるオーケストラにも勝るサウンドに注目!そして最後にもう一つ、皆様に伊賀をイメージした曲を作曲して当日演奏したいと思います。私達からのプレゼント曲是非きいてください。





一筆啓上 ふるさとへ

「私は唄うたいになる！」

Gulliver Get:アヤヲ

「私は唄うたいになる！」と故郷伊賀を出て、京都に住みついてから7年が過ぎた。今年6月に目標の第一歩であるメジャーデビューを果たした。7年はあつと言った気もするし、とんでもなく長かった気もする。今まで夢を諦めようとした事は、たったの一度も無かったし、絶対にプロになれると信じて疑っていなかったけれど、8月18日メジャーデビュー後初めての伊賀でのライブは自分でも驚くほどホッとしていて、本当は不安で仕方なかったのだと気付かされた夜でもあった。

私は高校を卒業してすぐに伊賀を出た。よくあるように、若者が故郷を「田舎」だと格好悪く思ったり、嫌悪したりという事は一切無い。ただ、私のやりたい音楽が伊賀に無かっただけだった。ただ、これもまたよくあることなのだろうけど、広い世界を見たかったというのは私にも当てはまった事で、自分の可能性を誰よりも信じてもいた。そして、京都で私はがむしゃらに唄った。呼ばれればどこにでも行って、唄って唄って唄いまくった。大先輩のミュージシャンのステージにも呼んでもらえるようになり、落ち込んだり喜んだりしながら、とにかく来る日も来る日も唄って過ごした。寝て起きて、唄って、アルバイトをして、唄って、の繰り返し。夢中で毎日を生きていたから、時々どうしようもなく疲れ果てる事があった。そんな時、私は一人電車に乗って故郷に帰ってきては気合を充電したものだ。緑に囲まれて、おいしい空気を吸い、両親とご飯を食べ、酒を飲み、いつも「またがんばろう」という気持ちになって京都に戻っていた。次に帰ってくる時こそは、いい知らせと一緒に!!という思いで…。

私たちGulliver Getの曲に「ひだまり」という故郷伊賀を想っ



Gulliver Get ボーカル:アヤヲ(写真中央)

て書いた曲がある。

「今 ひとり 見送られ 振り返らず走り続けている
だけどいつかは 帰るよ あたたかいあの場所へ」

伊賀はいつまでも私にとっては帰る場所であるだろうし、いつまでもあたたかい場所であるだろう。いい意味で「田舎」であり続けて欲しいと願う。そして、私が伊賀を飛び出して行ったように、若い人はどんどん外に出て世界を広げて行って欲しいとも思う。様々なところで元気ががんばることで、故郷が元気になる。大切な何かを忘れそうになったら、故郷で充電をして、また元気に飛び出して行く。あたたかい循環が、伊賀だけでなく社会を元気にするのだと思うから。

最近は忙しくて実家に帰っていないので、近々帰ろうとこれを書きながら思った。

夢ing

『もっと伊賀を好きになりたい。』

伊賀上野ケーブルテレビ(株) 制作部 富田 典子

私は大学生生活を京都で過ごし、学生の頃は都会での仕事や生活に憧れていましたが、両親の勧めもあり伊賀での就職を考え始めました。自分で何かを創り上げるといふことに魅力を感じ、伊賀上野ケーブルテレビ(株)を志望し、働かせて頂くことになりました。

私は伊賀で生まれ育ちましたが、地元のことをあまり知らなかったように思います。しかし、取材を通して今まで知らなかった伊賀の素晴らしさをたくさん知ることができ、どんどん地元を好きになってきています。

私のように地元の方でも伊賀のことをあまり知らない人が多いのではないかと思います。



まずは伊賀の人に伊賀の素晴らしさを知ってもらうためにも常に良い番組作りを目指し、番組を通して伊賀の良さを伝えたいと思います。

毎日が新しい事の発見でまだまだ分からない事が多いですが、伊賀を知って地元を好きになる人が一人でも増えるよう、頑張ります。

伊賀のええもん見つけた

「湯舟の手力さん」の愛称で崇敬されている東湯舟にある手力神社は、天手力男神を御祭神としている。この神は天照大御神が隠れた天の岩戸を開けたといわれ、神々の中でも最も力の強い神様であるとしている。正応年間（1290年頃）に長野県の戸隠神社より分社されたといわれており、忍者の里で知られている戸隠と伊賀に何か不思議な縁を感じる。三大上忍の一人である藤林長門守はこの地に砦を構え、手力神社とも深い関係があった。又、長門守は武田信玄に仕えた山本勘助から忍術の技を教わったとも伝えられる。手力神社は、昔から忍者との深い



関係で時を刻んできたのかもしれない。

毎年、10月17日は「手力さんの十七夜」と呼ばれ、花火が打ち上げられる。多数の願火煙火が奉納され、藤林長門守も奉納したと伝

てちからじんじや 手力神社



えられる。それは、手力神社の花火が忍者の狼煙から始まったとされる由縁でもあるのだろう。伊賀で一番遅くに上がる手力さんの花火は、農繁期を過ぎた民衆の楽しみでもあったはずだ。夏ではない秋の夜空に上がる花火は、伊賀の大切な歳事である。いつまでも続いて欲しいとお参りをした。

(広報事業委員 辻村勝則)

文化あれこれ春夏秋冬

伊賀米はなぜ美味しいの…?

伊賀は、底冷えが厳しく温度格差が大きい稲作に適した気候であること。そして、阿山鞍田地区は滋賀県との境で、重粘土地帯であることから、特においしいお米と言われて来たとのこと。

今の時代の健康志向に合わせた、体にやさしい米作りに挑戦し、化学肥料を一切使わず、堆肥と地力のみ有機農法で作上げた自慢のお米です。

良い土地条件と自然水の中で、ミネラルたっぷりのコシヒカリと羽二重餅米(餅米の品種)。

そのおいしい新米で、鯖の棒寿司を作ってみました。お祭りももうすぐですね。みなさんもおいしい新米で作ってみませんか?

(取材協力)生産者 川瀬秀隆氏(上友田在住)
(広報事業委員 松永啓子)

特集 伊賀の食文化「米」編



— レシピ —

- 材料
- 米 : 5カップ
 - 水 : 5カップ
 - 昆布 : 10cm角
 - 酒 : 大さじ3
 - 酢 : 100cc
 - 砂糖 : 大さじ4
 - 塩 : 小さじ1
- } 寿司酢



上手に寿司飯を作るには!
※ご飯が炊けたら、温かいうちに寿司酢を合わせるのがコツ!!

こだわり人生乾杯

コレクターの独り言 ～ブリキ玩具はあったかい～

伊賀まちかど博物館 街角ブリキのおもちゃ博物館館長 濱田 昌宏

『ブリキ玩具コレクションのきっかけは?』との質問には、『幼少の頃に馴染んだ玩具がタイムスリップして目の前にあったから』とか『心の琴線に触れ、あったかいから』と、お答えしています。

物を集めるのは大変です。努力しても手に入らない事もありますが、それでも楽しめる方法は、ブリキ玩具コレクションを通じて少し知り得た気がしますのでご紹介いたします。

最近始めたコレクションは物質ではありません。目に見えません。

【ものから伝わるメッセージコレクション】

物には、作り手のすばらしいメッセージがその作品の中にあります。

いいなと思う作品に出会った時、この作品をコレクションで

きなくてもメッセージを感じたらそのメッセージがコレクションとなります。

【ひとから伝わる言葉コレクション】

人との交流で、教わることはたくさんあります。アドバイス、助言、忠告、はげましなどを素直に受け止めコレクションすれば最高の宝物です。

この目に見えない2つのコレクションの発信元は、やはり人間なのです。この方法は、いつでもどなたでも始められ、保管場所もお金も必要なく、物質ではないので人に譲っても減ることがありません。

そして自分の人格や感性を磨けば磨くほどコレクションが増え、逆に磨かなければ減ることだってあります。

大切な事は、目に見えないというこのコレクションをつい最近始めたばかりです。

では、またお会いしましょう。



(伊賀市予野在住)

「年相応ってなあに?」

北泉 優子

この原稿を書こうと机にむかっていた時、玄関のチャイムが鳴り、町内の分会長さんが来て、敬老の日のお祝いの商品券をくださった。

ええっ、老人会の会員になる年なの?と、日頃は年令のことなど忘れていたわたしは、ちょっと驚き、大いにがっかりした。

自分では、まだ四十代くらいのつもりで、その年代の人達と大いに喋り、別段違和感もなく、対等に感じてきたが、他人から眺めたら、老人会入会の年だったのかと、逆に意識してしまった。

老令を意識することは、ほかにも沢山ある。まず、保険証が変わった。市が実施する健康診断でも70歳以上は無料となるものもある。また、生年月日を記入するとき、ああ年かと思う。

でも、実年令はさておき、精神年令は、四十代、五十代だと、強く確信している。そうでないと、年寄り



多情 多感

No.14

くさくさになって、何をするのも億劫になつてしまふもの……。

幸い、今の所は、まずまず健康である。多少の物忘れはあるが、認知症の気配もなく、成人病とも無縁だ。近視も治り、老眼鏡のお世話になつていないもの、読書量も若い時代と変わらない。ゆえに、自分の年を忘れて、やれ民話語り部塾だ、上野小唄の会だ、イベントの企画だと、色々手を出している。ハワイアンが好きだから、フラダンスをこれから習いたいとも考えている。教えてくれるところがあればだが……。

それなのに、何かにつけ、年令を意識する事柄に出会うと、出鼻をくじかれた気がして、逆に腹立たしくなる。

こんなに元気で、やる気満々なのに、「お前さんは、もう老人なのだから、年相応におとなしくしていなさいよ」と押し戻された気色の悪さが残るのだ。

ふた昔前、東京と伊賀を行き来しはじめた頃、ケーブルテレビで、こ

う話したことがある。

「伊賀は老人支配の町ですよ。要職にしがみついて放さない年寄りのせいで、若壮年の出番がない。これでは、町は活性化しませんよ。年を取れば、横道へ寄つて、若い人に

道を渡してやらなければ……。」と。

そして、いま、わたしは道をあけ渡す側になった。気力は充分でも、若い人の足手まといになつてはいないか、しがみついていると思われてはいないか、などと、内心反復している。老人は老人らしく、ひとかたまりになつて、老人会だとか、活き活きサロンとかに参加し、片隅でひっそりと生きてゆけばいい。そんなふうにも思う。しかし、こんな年寄りひとかたまりの老後は、わたしに似合わない。いやなのだ。

身体的な老化、これは甘受する。抵抗しても仕方がないからだ。が、精神的には、いくらでも、若く、瑞々しく生きられる。感性が若ければ、たとえ70代、80代でも、若人と話も合うし、アドバイスもしてあげられる。いたわりや敬老など、現在はごめんのだ。

年令不相応でも、若い人の仲間に参加し、口角泡をとばして、議論し、何かをやつてゆきたい。そう願っていることしきりなのだ。

敬老の商品券をくださるより、気概のある若者を紹介してちょうだい。その方がよほど嬉しい。つくづく思った。

でも、こんなことは皆嫁ず後家のグチで、老人の遠吠えかしら?

(作家・市内在住)

平成19年度下半期
伊賀市文化都市協会
ホール自主事業

ライナップ

11/3 (土) BUNTO 映画鑑賞会 **伊賀市文化会館**
「四月の雪」「運理の枝」
13:00開場 「四月の雪」上映13:30~15:27
「運理の枝」上映15:45~17:32

一般 1,000円
高校生以下 500円
(当日200円増)
全席自由

発売中

11/4 (日) 第12回ピアノデュオコンサート **青山ホール**
お子様と楽しめる
ふたりのピアノコンサート
Duetwo「デュエット」

13:30開場/14:00開演
3歳以上 500円
全席自由

発売中

Photo: K.Mituro

11/24 (土) 爆笑! お笑いバトル2007 in いが **ふるさと会館いが**
出演: 桜塚やっくん・小梅太夫・たいがー・りー
ハマカーン・HEY!たくちゃん

①11:30開場/12:00開演
②14:30開場/15:00開演
一般 2,500円(当日500円増)
全席指定 ※3歳以上有料

10/20発売

12/11 (火) 劇団四季ミュージカル **伊賀市文化会館**
「エビータ」

18:00開場/18:30開演
S席 8,400円
A席 6,300円
B席 4,200円

発売中

1/13 (日) 韓流ドラマコンサート **ふるさと会館いが**
13:30開場/14:00開演

一般 2,000円
高校生以下 1,000円
全席自由

11/3発売

1/27 (日) 及川浩治トリオ **青山ホール**
"Bee" コンサート

13:30開場/14:00開演
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
全席指定(当日500円増)

10/27発売

2/3 (日) 第18回 **青山ホール**
青山推薦コンサート

13:00開場/13:30開演
一般 1,000円
全席自由

11/18発売

2/11 (祝) ワンコインJAZZコンサート **あやま文化センター**
福森道華NYクアルテットコンサート2008
スペシャルゲスト 田井中福司

時間未定
一般 500円
全席自由

11/17発売

2/23 (土) ひろみちお兄さんの **青山ホール**
体操教室

2回公演 時間未定
大人 1,500円
小人(3歳以上) 1,000円
全席自由

1/14発売

3/9 (日) 八方・きん枝 **伊賀市文化会館**
二人会

出演: 八方・きん枝・八光・八天

13:30開場/14:00開演
一般 2,500円
高校生以下 1,500円
全席指定(当日500円増)

1/13発売

3/9 (日) 青山子ども劇団 **青山ホール**
「うてかえりこんぼ」公演

13:30開場/14:00開演
大人 700円
高校生以下 500円
全席自由

1/26発売

3/15 (土) CHISA & MINO 10th Anniversary **伊賀市文化会館**
高嶋ちさ子&加羽沢美濃
ハートフル・クラシックス2008

14:30開場/15:00開演

一般 2,500円
高校生以下 1,500円
(当日500円増)
全席指定

12/15発売

3/29 (土) 日本通運Presents **伊賀市文化会館**
由紀さおり・安田祥子
Songs With Your Life Concert ~あしたへ贈る歌~

17:30開場/18:00開演
一般 4,500円
(当日500円増)
全席指定

12/16発売

伊賀市文化会館
公共ホール音楽活性化事業 大熊理津子マリン(リサイタル)(仮称)【2/11祝】

ふるさと会館いが
第8回 能楽鑑賞会【3/2日】
Full Come Live【12/8土】
タッチ・ザ・スタインウェイ【11/25日・1/20日】

青山ホール
タッチ・ザ・スタインウェイ【12/9日・2/17日】

あやま文化センター
Gulliver Getコンサート(仮称)【2/2土】
さんさんコンサート【2/17日】

※掲載内容は現時点での予定です。内容の変更があるかもしれません。ご了承ください。詳細は追ってお知らせします。

ぶんと通信

投稿記事・情報募集

皆さんも『ぶんと通信』に参加しませんか?

(財)伊賀市文化都市協会では文化情報誌として「ぶんと通信」を隔月で発行していますが、今まで以上の情報をお知らせするため、読者の市民の皆様からの投稿・情報を募集します。どしどしお寄せ下さい。

～伊賀のええもん見つけた～ (4頁掲載)
「こんな珍しい名所があるよ!」とか「この時期には〇〇が見事よ!」など…市内で知られていない、地域の人ぞ知る穴場をご紹介ください。

☆内容 タイトル随意、文字600字、写真1~2点
(写真は内容と合ったもの)

☆投稿方法 郵送又はメールで下記までお送り下さい。
メールの場合、写真は添付画像(形式JPEG)でお願いします。

※採用は広報事業委員会で決定いたします。

～こだわり人生乾杯～ (5頁掲載)
市内在住の方で、人生において様々な分野で深い志をお持ちの方をご紹介ください。
趣味・スポーツなどなど…。いろんな分野で、こだわりを持って活動あるいは生活されている方など…。大歓迎です。
☆推薦者の方は、郵便、FAX又はメールで、その方の住所・氏名・活動内容・連絡方法を明記し、下記までお送り下さい。検討のうえ広報委員が記事の依頼をさせていただきます。

※採用の方にはお礼を差し上げます。

情報提供先 〒518-0809 伊賀市西明寺3240-2
(財)伊賀市文化都市協会「ぶんと通信係」
e-mail: samazama@bunto.com

お問合せ (財)伊賀市文化都市協会 電話22-0511

特別企画展 武家屋敷で抹茶をたしなむ憩いの日

歴史情緒あふれる江戸時代の武家屋敷で、抹茶を召し上がってみませんか。お茶の作法を体験して「茶道文化」に触れる方、ぶらりと寄って抹茶と和菓子を楽しむ方...それぞれが、武家屋敷の雰囲気と抹茶の風味を味わいながら、ご家族やお友達とゆっくりとおくつろぎください。

- 日 時 11月24日(土)・25日(日)
午前9時30分～午後3時30分
- 場 所 武家屋敷 入交家住宅
(伊賀市上野相生町2828番地)
※駐車場はございませんので、ご了承ください。
- 参加料金 一人 300円(抹茶・和菓子・入館料含む)
※抹茶等を召し上がらない方は、通常の入館料で入館いただけます。
- 協 力 裏千家 淡交会 三重南支部伊賀青年部
- お申込み 11月1日午前9時より受付開始
★「茶道体験コース」「味わいコース」とどちらかを選んで、電話22-0511番にてお申込みください。

其の壱 茶道体験コース

お茶の作法を体験しながら、「茶会」形式で抹茶を召し上げていただきます。
1回目 9:30～ 2回目 10:30～
3回目 11:30～ 4回目 13:30～
5回目 14:30～ 6回目 15:30～
※各回の定員は10名となっています。
※所要時間は、30分から40分です。

其の弐 味わいコース

点てだしの抹茶と和菓子を座敷で召し上げていただきます。お時間に余裕のない方はこちらのコースがおすすめ! 子どもから大人まで、気軽にお申込ください。

- お問合せ (財)伊賀市文化都市協会事務局
電話 22-0511

参加者募集 グラウンドゴルフ大会 第2回「集まれ! グラウンドゴルフ仲間!!」 BUNTO杯!

昨年度より開催している「BUNTO杯」今年も、商品もグレードアップして第2回大会を実施します。グラウンドゴルフを愛する皆様、ご家族やお友達と一緒に、緑の芝生の上で、楽しい一日を過ごしましょう!



- 日 時 11月15日(木)
※小雨決行、予備日16日(金)
- 会 場 上野運動公園 競技場
- 日 程 午前8時から受付・午前8時45分から開会式
午前9時から競技開始(予定)
- 料 金 参加費 1人 500円
- 協 力 伊賀市グラウンドゴルフ協会
- 受付期間 10月9日から10月31日まで
- 申込方法 申込用紙にて受付いたしますので、下記の受付窓口へ参加費を添えて提出してください。(申込用紙は受付窓口でご用意しています)
注:伊賀市グラウンドゴルフ協会会員の方は、各地区の担当役員の方にお申込ください。
- 受付窓口 伊賀市文化会館・上野運動公園スポーツセンター・ゆめドームうえの・ふるさと会館いが・大山田BG・阿山BG・青山ホール
- お問合せ (財)伊賀市文化都市協会
電話 22-0511

ちよっぴりお洒落な “Happy X'mas★コンサート” in ホワイエ



今年もクリスマスシーズンがやってきました。イルミネーションに輝く街並みや、ショーウィンドウの華やかなディスプレイに心躍る季節です。今年のクリスマスは、ちよっぴりお洒落に、やさしい音楽が流れるロマンティックな空間で、心温まるクリスマスをお過ごしください。

- 開催日時 12月22日(土) 18:00開演
- 場 所 伊賀市文化会館ホワイエ
- 出 演 よつば(伊賀地域出身者)
富永和歌子(FI)・政谷歌奈子(Ob)
森岡 恵(Fg)・常磐 好(Pf)
友情出演 今西菜都(ソプラノ)
- 料 金 一般500円 ドリンク付き
10月28日(日)より4ホール及び伊賀市・名張市
市内プレイガイドで発売開始



施設活用事業 旧小田小学校本館 特別企画展

学校のたからもの展 パートII —旧阿山郡、名賀郡の小学校—

旧阿山郡および名賀郡の小学校に残されている、なつかしの品を展示します。

- 展 示 物 ・青い目の人形
・由緒ある鬼瓦、木製の校章
・校歌の楽譜(山田耕作作曲)
・アルバム、学校記念誌
・書画、レリーフなど
- 開催期間 11月1日(木)～30日(金) 9:00～16:30
- 場 所 旧小田小学校本館(伊賀市小田町141-1)
- 入 館 料 通常参観料
(大人100円、大学生50円、小中学生30円)

古い教科書を集めています!

- ◎収 集 物 昭和20年代及び、昭和40年代～昭和年代末までの小学校教科書類
(全教科、1学年用～6学年用)
- ◎収集期限 11月11日(日)
- ★ご家庭に保管されており、寄贈していただける方は、下記までご連絡をお願いします。
- 連絡先 (財)伊賀市文化都市協会本部 22-0511
旧小田小学校本館 21-9957

- ## アルバイト募集
- 募集人数 15名
 - 勤務場所 伊賀市西明寺3240-2
伊賀市文化会館
 - 業 務 内 容 劇団四季ミュージカル「エビータ」の舞台の搬入・搬出・設営
 - 勤 務 日 平成19年12月11日(火)
 - 勤 務 時 間 8:45集合
9:00～24:00(予定)まで
(休憩あり、食事支給)
 - 条 件 健康で体力のある方
未成年は不可
 - 賃 金 15,030円
 - お問合せ先 (財)伊賀市文化都市協会
TEL 0595-22-0511

ホール・ドーム **これから** 情報

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

Table with columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like MIEF-IATSSフォーラム, 伊賀あおやまシネマ倶楽部, 人を愛し夢を忘れず歌う, etc.

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

Table with columns: 日時, 催し物, 場所, 主催・問い合わせ. Includes events like 三重県ラージボール卓球大会, 第5回オータムシップ, etc.

編集部だより
秋分の日にはぶんと通信53号でお伝えした「しまがはら・竹灯りの宴」に行ってきた。長く暑かった今年の夏もようやく終わりを告げ、さわやかな秋風が吹く中、1500の竹灯りや素敵な朗読、コンサートを楽しんできました。

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

Table with columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 伊賀市防火のついで2007, BUNTO 映画鑑賞会, etc.

ふるさと会館いが 伊賀市下柵6243番地 TEL.45-9125

Table with columns: 日時, 催し物, 場所, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 琴城流大正琴, いがまち展覧会, etc.

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.22-731-1125

Table with columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like Angel Heart Concert, 3B体操子ども大会, etc.

伊賀びと川柳
★指を折り親子で俳句芭蕉祭
カタヤキの曲ごたえ真似て伊賀根性
高橋せつ子
伊賀を出て伊賀の良き云う蒸の笑み
井ノ上瑠璃

(財)伊賀市文化都市協会
TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512
Eメール samazama@bunto.com